

え?!

紙の健康保険証、廃止するの?!

マイナカードと健康保険証の一体化・一本化は何をもたらすか

政府は、2023年12月22日、
現行の健康保険証を2024年12月2日に廃止することを閣議決定しました。
マイナカードに保険証機能を持たせたマイナ保険証利用率は
2024年4月で6%強にとどまるのに、マイナ保険証へ原則一本化すること。
そもそもマイナカードの取得は「任意」だったはずでは。
振り回される医療機関・介護施設、取り残される患者・入所者。
誰の何のためのマイナ保険証なのでしょう。
政府がゴリ押しする背景に何があるのでしょうか。
私たちの人権は大丈夫?一緒に考えましょう。

予約不要・入場無料

2024年8月10日(土)

14時開会～16時30分閉会(13時30分開場)

宮日ホール(宮日会館11階)地図裏面

オンライン配信は
ありません

プログラム

14:00 開会・挨拶

14:05 基調講演「マイナ保険証の先に何があるか?」

斎藤貴男さん(フリージャーナリスト)

15:05 休憩

15:15 パネルディスカッション「え?!紙の健康保険証、廃止するの?!

斎藤貴男さん(フリージャーナリスト)、落合邦博さん(ケアマネジャー)、
小池弘幸さん(小池レディスクリニック 医師)、松田幸子さん(弁護士)

16:25 閉会挨拶

16:30 閉会(予定)



フリージャーナリスト
斎藤貴男さん

え？！紙の健康保険証、廃止するの？！

基調講演講師・パネリスト 齋藤貴男さん

フリージャーナリスト。1958年東京都生まれ。早稲田大学商学部卒、英国バーミンガム大学大学院修了（国際学MA）。日本工業新聞、プレジデント、週刊文春などの記者や編集者を経て独立。主な著書に『カルト資本主義』『プライバシー・クライシス』『機会不平等』『消費税のカラクリ』『ルポ改憲潮流』『子宮頸がんワクチン事件』など。近年は児童文学にも挑戦し、『いちばんたいせつなもの』『正射必中！弓道部』を発表。



パネリスト 落合邦博さん

宮崎医療生活協同組合居宅介護支援事業所れいぼう所長、ケアマネジャー。

パネリスト 小池弘幸さん

医学博士。日本産科婦人科学会産婦人科専門医、小池レディースクリニック院長。現宮崎県保険医協会会長。1976年久留米大学医学部卒業、1977年大阪大学医学部産婦人科研修医、1979年宮崎医科大学(現宮崎大学医学部 以下同じ)産婦人科助手～同科病棟医長、同科講師、同科医局長を経て1993年6月～1994年4月メルボルン大学ロイヤル・ウィメンズホスピタルに留学、1995年宮崎医科大学産婦人科助教授、1997年小池レディースクリニック開業。



パネリスト 松田幸子さん

弁護士。2012年県弁護士会会長、2013年日弁連副会長。県弁護士会人権擁護委員会委員、高齢者・障がい者権利擁護委員会、憲法委員会委員等歴任。九州山口医療問題研究会、薬害HIV訴訟、薬害肝炎訴訟等医療問題に関わり、現宮崎市医療安全推進協議会副会長。弁護士法人えいらく法律事務所所属。

特別報告 現行保険証の存続を求める宮崎の会



宮日会館(宮日ホール)

宮崎市高千穂通1-1-33

※駐車場はありません。近くの有料駐車場をご利用下さい。